

## 特定非営利活動法人 日本咀嚼学会機関誌投稿規程と手引き

### 規 程

日本咀嚼学会雑誌(以下「日咀嚼誌」という)は、広く「咀嚼と健康」に関する最新の学術的情報の交流と普及を図ることを目的として発行する。

#### 1. 日咀嚼誌の発行予定日

1号：5月31日，2号：11月30日

なお，原稿締切は1号は1月31日，2号は7月31日とする。ただし，編集委員会で認める場合はその限りでない。

#### 2. 投稿資格

日咀嚼誌への投稿は，本学会員に限る。

#### 3. 原稿内容

1) 総説，原著，症例報告・技術報告，短報，書評および雑録（読者の声）などを掲載する。

2) 総説は，投稿原稿の中から編集委員会が採択したもの，または編集委員会が執筆を依頼したものとする。

3) 原著，症例報告・技術報告，短報および書評については，会員の投稿によるものとする。

4) 原著，症例報告・技術報告，短報は国内・国外を問わず，他の学術雑誌に投稿，または掲載していないものに限る。

#### 4. 査読

原著，症例報告・技術報告，短報は，少なくとも2名の査読者によって査読を受けた後，編集委員会において掲載の可否を決定する。

#### 5. 印刷費用

投稿原稿の印刷費用は，原則として著者負担とする。ただし，刷り上がり2頁（短報は1頁）までの印刷費（図，表，カラー印刷は除く）と依頼総説の別刷50部は学会負担とする。

#### 6. 著作権

掲載された論文の著作権の譲渡にあたって，承諾書には著者全員の署名を行い，論文受理後に提出する。本誌に掲載された論文の著作権（著作財産権 copy right）は本学会に帰属する。本学会が必要と認めるときあるいは外部からの引用の申請があったときは，編集委員会で審議し，掲載ならびに版權使用を認めることとする。

#### 7. 複写権

日咀嚼誌掲載の著作物の複写権および公衆送信権

は，特定非営利活動法人日本咀嚼学会に帰属するものとする。

#### 8. 利益相反（Conflict of Interest，以下「COI」という）の申告

投稿に際しては，論文の種別にかかわらずCOIの有無について，論文末尾の「文献」の前に「投稿原稿の書き方」に示す例にならって記載し，開示する。なお，論文初回投稿時，「日本咀嚼学会雑誌：自己申告によるCOI報告書」（様式2）を添付する。付：本規程と手引きの改正は，常任理事会の議を経るものとする。

### 手引き

#### 1. 投稿原稿の書き方

##### 1) 原稿の様式

原稿は日本語または英語に限る。本文は平易な用語を用い，論文の重要性が専門領域以外の研究者にも理解できるものとする。また本文原稿は原則としてMicrosoft Office Word形式で作成し，A4判用紙に横書き30字×22行で印刷する。その他も楷書，横書きとする。

##### 2) 原則的な本文の構成および書式

論文種別を問わず，すべての原稿は，第1頁の左上に論文種別を記載し，以下，表題，著者名，所属，ランニングタイトル（スペースを含め25字以内），キーワード（5語以内），連絡者氏名，住所，電話およびFAX番号，メールアドレス，本文原稿，図，表の枚数を必ず記載する。

##### (1) 原著

刷り上がり8頁以内（A4判用紙23枚まで。文献・写真・図・表を含む）とする。ただし，編集委員会で超過を認める場合はその限りでない。

第2頁からの本文には，英文抄録，和文抄録，緒言，方法，結果，考察，結論，謝辞（任意），利益相反（COI），文献，図および写真の説明，表の順に記載する。

また，和文抄録は600字以内，英文抄録は300語以内とする。なお表題，著者名，所属には英文を添付する。

##### (2) 総説

刷り上がり7頁以内（A4判用紙20枚まで。文献・

写真・図・表を含む)とする。ただし、編集委員会で超過を認める場合はその限りでない。

第2頁以降は、英文抄録、和文抄録、緒言、本文、謝辞(任意)、利益相反(COI)、文献、図および写真の説明、表の順に記載する。

また、和文抄録は600字以内、英文抄録は300語以内とする。なお表題、著者名、所属には英文を添付する。

### (3) 症例報告・技術報告

刷り上がり5頁以内(A4判用紙14.5枚まで。文献・写真・図・表を含む)とする。ただし、編集委員会で超過を認める場合は、その限りでない。

書式はおおむね原著の場合と同一とするが、和文抄録は400字以内、英文抄録は200語以内とする。なお、表題、著者名、所属には英文を添付する。

### (4) 短報

刷り上がり3頁以内(A4判用紙8.5枚まで。文献・写真・図・表を含む)とする。

書式はおおむね原著の場合と同一とするが、本文には文献以外に見出しをつけないこと。また和文抄録は添付しない。

### (5) 書評、雑録(読者の声など)

A4判用紙3枚以内(刷り上がり1頁以内)とする。

## 3) 単位

SI単位を基本とし、mm, cm, ml, dl, mg, g, kgなどと記載する。

## 4) 脚注

脚注は避ける。科研費ほかの競争的資金や助成金などによる旨は、謝辞に記載する。

## 5) 写真と図、表

投稿時の画像データの形式はJPEG, EPS, TIF, PDF, Wordとする。論文受理後、JPEG, EPS, TIF形式で再度提出する。その際、写真の場合は300 dpi以上、線画は1200 dpi以上の解像度とする。また、表は、Excel, Word形式とする。

電子データでない写真や図は、手札型(13 cm × 9 cm)以上で、印刷時の1~2倍の大きさとし、1枚ずつA4判程度の台紙に貼り、右下に著者名と図の番号を記載する。

白黒印刷を希望する図は白黒で作成する。

図表の挿入箇所は、原稿の本文右余白に記入するか、または後方にまとめる旨を明記する。ただし、編集の都合で印刷の位置を変更することがある。

図表の説明は必ず英文で別紙にまとめ、Fig. 1, Table 1のように記載する。

なお、既に発表された雑誌や書籍などから図(写真を含む)、表、その他を転載する場合には、投稿者自身が著作権者の了解を得たうえで、出典を明記する。

## 6) 倫理規定

人もしくは動物を対象とする研究では、「所属施設の倫理委員会の承認(承認番号 )を得ている」、「本学会倫理審査委員会の承認(承認番号 )を得ている」、「所属施設の動物実験委員会の承認(承認番号 )を得ている」などと明記する。

## 7) 利益相反(COI)

COIの有無を、以下の例にならって記載し、開示する。

(1) COI状態がない場合の開示例:本論文に関して、開示すべき利益相反状態はない。

(2) COI状態がある場合の開示例:

- a. 本研究は〇〇会社の資金提供を受けた。
- b. ●●にあたっては、〇〇会社から測定装置(物品、旅費など)の提供を受けた。
- c. ■■(講座など)は本研究の研究費として〇〇会社から資金提供(寄付など)を受けた。
- d. ■■は〇〇会社から研究員を受け入れた。
- e. 著者△△、▲▲は、〇〇会社の社員(役員、顧問、株主など)である(あった)。

## 8) 文献

(1) 本文中に引用した順序で番号をつけ、本文の末尾に記載する。同一箇所複数引用した場合は年代順とする。

(2) 著者名は姓、名(欧文ではイニシャルのみ)の順とする。

(3) 著者名は、共著の場合は6名まで記載し、7人目からは、「ほか」または「et al.」と略す。分担執筆の単行本には編者名も入れる。

(4) 欧文雑誌名の省略はIndex Medicusに従い、和文雑誌の略称は医学中央雑誌の収載誌一覧などに従う。

(5) 引用頁には、初めと終わりを記載する。

(6) 文献の書き方と例

### a. 学会誌などの論文・抄録

著者名(6名まで)、表題、誌名、発行年(西暦表示とする);巻:頁-頁、の順に記載する。頁は通巻頁を原則とするが、通し頁でない雑誌に限り、号も巻の後に( )に入れて記載する。

例:

高橋 肇, 伊藤 彰, 江川広子, 渡辺紀之, 井上

誠, 新井映子ほか. 高齢者向け米菓の研究. 日咀嚼誌. 2006 ; 16 : 70-82.

Yoshino Y, Kamiyama A, Harikae N, Suzuki M. Relationships among masticatory ability, hand-grip strength and dietary habits in subjects ranging in age from children to elderlies. J Masticat & Health Soc. 2005 ; 15 : 2-10.

Hasegawa Y, Tachibana Y, Sakagami J, Zhang M, Urade M, Ono T. Flavor-enhanced modulation of cerebral blood flow during gum chewing. PLoS ONE. 2013 ; 8 : e66313.

栢山智博, 池邊一典, 森居研太郎, 雨宮三起子, 松田謙一, 和田誠大ほか. 高齢者の咀嚼能率と口腔関連 QOL との関係. (抄録) 日咀嚼誌. 2006 ; 16 : 99.

#### b. 単行本

(分担執筆でない場合) 著者名 (6名まで), 書名, 版数, 発行地, 発行者, 発行年, 頁-頁, の順に記載する. 同じ単行本を2カ所以上で引用する際は, 各々の引用頁を記載する.

例:

山田好秋. 摂食・嚥下のメカニズム. 東京, 医歯薬出版, 2004, 115.

(分担執筆の場合) 分担執筆者, 分担執筆の表題, 書名, 編者または監修者名, 発行地, 発行者, 発行年, 頁-頁, の順に記載する.

例:

Nakazawa F, Togashi M. Evaluation of food texture by mastication and palatal pressure, jaw movement and electromyography. Food Hydrocolloids Part 2. Nishinari K ed., Amsterdam, Elsevier, 2000, 473-483.

河村洋二郎, 神山かおる, 中沢文子, 山田好秋, 新井映子, 坂東永一ほか. 咀嚼機能の老化と食品. 老化抑制と食品—抗酸化・脳・咀嚼—. 独立行政法人食品総合研究所編. 東京, アイピーシー, 2002, 283-431.

(翻訳書の場合) 著者 (翻訳者), 書名 (翻訳書名, 発行地, 発行者, 発行年, 頁-頁), 原書発行年, の順に記載する.

例:

Tenovuo JO (石川達也, 高江洲義矩). Human Saliva ; Clinical Chemistry and Microbiology (唾液の科学. 東京, 一世出版, 1998, 245-268), 1989.

#### c. Web

サイト名. 表題. <URL>; サイトの運営開始年 (運営開始年が不明な場合のみ省略可) [アクセス日 年. 月. 日]

例:

文部科学省. 学校における食育の推進・学校給食の充実. <[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/syokuiku/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/index.htm)>; 2009 [accessed 2012.5.11]

## 2. 原稿送付

### 1) 電子メールの場合

e-mailに原稿(図, 表を含む)を添付して投稿する. e-mailの件名は「日本咀嚼学会雑誌論文投稿」とし, hensyu1@kokuhoken.or.jpに送付する. ファイル容量が合計で3MB以上になる場合は, 送信前に編集委員会事務局に連絡する.

### 2) 郵送の場合

郵送での投稿も受け付ける. 原稿は3部(原本1部, コピー2部, 但し写真は全て原図)とし, 下記の編集委員会事務局宛に送付する. その際必ずCDを添付する(ファイル形式は原則としてワード形式, テキスト形式とする. それ以外の場合には, ワードプロソフト, コンピュータ機種名を明記する).

### 3) その他の注意事項

投稿された論文の原稿は返却しない.  
著作権委譲の承諾書は, 論文受理後に編集委員会事務局に送付する.

### 4) 送付先および問合せ先

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9  
(一財)口腔保健協会内  
特定非営利活動法人 日本咀嚼学会  
編集委員会事務局  
TEL : 03-3947-8894  
FAX : 03-3947-8073  
E-mail : hensyu3@kokuhoken.or.jp